
Campus Life

aki0310

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

C a m p u s L i f e

【Nコード】

N 2 2 5 0 D

【作者名】

a k i 0 3 1 0

【あらすじ】

高校を卒業し特にすることもなくダラダラと毎日を過ごしていたミキ大学が始まりさえすれば物語が始まるんだと期待に胸躍らせるのだが、、、、

第一話　～再会～

***** 第一話 *****

～再会～

「行つてきまあす!!」

待ちに待った大学入学初日
いきなりの寝坊
さすがアタシ
神経図太い
足もぶつとい

ほつといて!!

「遅刻遅刻う!」
とか言いながら
食パンくわえて走れば

街角でカッコいい青年とぶつかれる
かもしれないけど、

あいにくあたしん家、食パン品切れでした

でも、そこはさすがあたし

こんなときのために

ストックしておいた

ウィダーインゼリーで

朝食10秒チャージ！

2秒でいけた

・・・

勇ましいわ

せつかく大学入ったんだし

彼氏の一人くらいほすい・・・

もう少し乙女にならなくてわ

明日からは、

そうだ

可愛くプリンにしよう

とろけるようなあまあい口どけ

うふふ

太るわね・・・

一人で色々考えながら颯爽と電車に飛び乗る

プシュウッ

「ふう、なんとか間に合った」

と思ったら、
逆じゃーん！

電車逆方向じゃあん（泣笑）

おろろーん！！

アホなこと考えてるからあゝ

あたしのばかあゝ！！

初日から遅刻

始業式に遅れる

あたしの人生も各駅停車だ
青春なだけにね！！

う、サバイ

てかきついわ

気まずうい空気の中、式に途中参加

「・・・ミキ？」

あたしを呼ぶ声
聞き覚えのある声だ

「わお、・・・だれ？」

振り向くとそこには

顔面真つ黒

金髪

なのに神戸巻き

・・・これはオシャレと言えるの？

というよりどこの国の方かしら？

原住民？

どっちに進みたいの？このファッションは逆に最先端？

と困惑していると

「あ、わかんない？ウチ、キョウコ、ほあ、二年の時同じc1
assだった」

二年・・・？

同じクラス・・・？

キョウコ・・・？

キヨウコ・・・！！！！？

「ええ？！マツジ！？」

キヨウコ？

変わりすぎじゃん！ブフウッ！！

ってか誰だよおめえ！！

その髪の色と肌の色は逆にしとけっつうの！！」

キヨウコのあまりの変貌振りにあたしも思わず大きい声で泣き笑いながらツツコンでしまった

『そこ、静かにしなさい』

うわあい、学長に怒られた

式も終わり、あたしはキヨウコとの再会に興奮してた

「あんたアメリカ行ったんじゃなかったっけ？」

そう、キヨウコは高3になるとき
親の都合でアメリカの高校に転校していった

「そうなんだけどさ、やつぱ日本LOVEでさ、
大学こつち来ちゃった
てかミキにmeet againできるとは思わなかったよお」

「うん、あたしもキヨウコがこんなに未確認生物に変貌を遂げてる
とは思わなかった」

「あ、ひつどうーい、でも向こうのfriendsみんなこんな感じだよお？」

「それ黒人さんでしょ？自黒だからー！」

「あ、そうかもね、ゴババ、
OH! JIGURO! That's right!」

「え？『ゴババ』って笑い声?!
てかさ、キヨウコ英語しゃべれるようになったの? なってないの
?」

さつきから片言の英語がなかなかにうざいんですけど

「ううーん・・・完璧! もうI・m NOVAだよ」

「ウケルう! 絶対お前しゃべれねえだろ!」

「ばれた? ジエスチャーでなんとかdo it! だからー!! ゴババ

ツババババ!!」

「Do it! それいただき! ハハハッ! 憧れのあの人もこれで
Do it!!」

「それ使い方 a little ちがーう」

「マジ? きゃははん!!」

そんなやり取りをしているとすっかり高校生に戻ったかのような錯覚に陥る

やっぱりキョウコはキョウコだ

変わらない

そんであたしも変わらない

やっぱりアホだ・・・

ドン!!

後ろから走ってきた男が不意にあたしにぶつかった
そんでよろめいたあたしがキョウコにぶつかった

「きやははっふい」

「ゴババッティ」

笑ってる最中だったから変な声が出てしまった

でもキョウコは元から変な声で笑ってたからあんま気になんない

「わりい！」

それだけいうと男は走っていった

「何あれ?! 普通『大丈夫?』とか言って手くらい差し出すでしょ?

やな感じ」

これがあたしとユウとの初めての出会いだった・・・

ext Campus Life

See You N

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2250d/>

Campus Life

2011年1月8日20時34分発行